

自治センターだより
やまはし
12月号

編集と発行 山橋自治センター
発行責任者 十文字 秀 男
発行日 平成26年12月1日
電話 0247-26-1065
FAX 0247-26-3109



文化祭開催

第39回山橋地区文化祭・山橋宝の里祭りが、11月2日開催された。天候が心配されたが、前日の雨天が嘘のように晴れ渡り、絶好の文化祭日和となりました。例年どおり山橋長寿会のみごとなたくさんの野菜、健寿大学の広告紙を使った作品、豊遊塾のこけ玉、農協のふれあい広場の作品、さくら荘利用者の作品他、山野草、植木、菊などたくさんの展示物がかざられた。

山形、南山形小学校の子供たちの作品も例年通り展示されたが、今年は特に廃校になるのを記念して、学校の歴史を感じさせる古い写真やアルバムの展示が行われ、見学者から懐かしがられていた。



展示品の数々

表の宝の里市場では、大判焼き、板仲の蕎麦、おでん、玉こんにゃく、うどん、等が販売されました。

外のメインステージでは、来賓を迎えての開会セレモニーがおこなわれた。12時から菊、野菜部門の表彰式がおこなわれ、各受賞者に賞状と記念品が贈呈されました。午後1時から芸能祭は板橋青年会のはやしによる豊年踊りからのスタートとなり、フラダンス、詩吟と剣舞、バルーンアートと続き、10人の歌自慢のカラオケ大会で盛り上がった。

宝の里ウォーク

一方宝の里ウォークは、今回北山形コースで行われ23名が参加した。地元の渡邊實さんの案内で名所・旧跡をたのしんだ。北山形の3名のボランティアによる混ぜご飯のおにぎりのもてなしに参加者も満足していた。



宝の里ウォークの参加者達

12月の主な行事予定

日	曜	行事予定	備考	日	曜	行事予定	備考
5	金	給食試食会	山形小	17	水	ふれあい広場	センター
5	金	授業参観	南山形小	22	月	第2学期終業式	南・山形小
12	金	フライングコンサート	山形小	12/2	火	石ころアート	センター
16	火	お年寄宅訪問	南山形小	4	木	自治協議会設立準備	センター



ハーモニカを演奏する利用者さん

ふれあい広場が開催

11月12日、第3班によるふれあい広場が、利用者21名・ボランティア15名で開催されました。今回は「唄と踊りを楽しもう」という内容でした。

特別ボランティアの12人の芳柳会による踊り、カラオケマスターズによる唄を楽しみました。食事後4人の誕生会が行なわれ、ハーモニカで「ふるさと」を演奏する利用者さんも現れ、楽しいひとときを過ごしました。



演技と唄を披露するボランティア

ユルキャラサミット羽生

山橋まちづくり委員会は22日会員・事務局、合わせて14人で、[世界キャラクターサミットIN羽生]に参加しました。

今年は参加キャラ430チームで、内外国からのキャラクターはアメリカを始め10チーム有りました。手作り賞品を始め、石ころ多グッズ、石川町内の商店のお菓子、石川町地元の農産物などを販売しました。

当日は日本大学の先生・学生3人も応援に駆けつけてくれました。山橋地区、石川町のピーアールをしてきました。



営業活動をする石ころ多

**伝達料理講習会
が開催される**

石川町食生活改善推進員による伝達料理講習会が参加者と講師を合わせ、総勢15人で、15日山橋自治センター調理室で行われました。



料理作りに励む参加者

産業おこし部会が研修旅行

産業おこし部会（大平周一部会長）が参加者12人で1月8日群馬県道の駅川場田園プラザに研修旅行を行った。ここは食べる・体験する・宿泊する・お買い物・お酒・散歩と一日楽しめる人気のある大きな施設である。

参加者は陶芸を体験したり農産物・特産物直売所を見学した。「今後のまちづくりの参考にしたい」と話していた。

山橋自治センターは
二六
一五年
五月
五日
まで
休み
となり
ます。

種を蒔き 双葉見つめて 笑う孫 矢内啓子

第三十九回山橋地区文化祭等区者作品
平成二六年十一月二日

孤独の中 思いの深さ 触れてくる 一平子

母の言 老いても時に 重宝す 幸恵

産業祭 鮎の塩焼き 完売す 幸恵

赤蜻蛉 肩に止まりて 一休み 幸恵

黄金色に 親娘孫そろって イチヨウ子

湖畔より 紅葉の中 秋のなみ 栄

満山の 見えてもなを 香を放つ 栄

木屑の 抜かれてもなを 香を放つ 栄

秋夕日の 背負いて帰る 下校の度 多美登

樟脳の 香りに包まれて 冬の支度 多美登

唐辛子と 漬物用に 干し上げる 多美登

来客と お茶に枝豆 長話 多美登

第百四十六回 望月俳句会
十月二十九日 山橋自治センター
当季雑詠